

見つけよう防災の種

3月28日に防災訓練を開催しました。晴天にも恵まれ午前午後合わせて約350人参加がありました。心より感謝申し上げます。

今年は、加古川中央消防署の協力により、一連の流れを通しての想定訓練となりました。『和歌山県南方沖を震源とするマグニチュード 8.4 の海溝型地震が発生し、加古川市で震度 6 強を観測。この地震により加古川市全域で家屋の倒壊や火災、ライフライン寸断等の被害が発生、要救助者及び負傷者が発生している』という想定で訓練がスタートしました。

8時50分「本日 9:00 からグリーンシティにおいて総合防災訓練を行います」と予告放送が鳴り響く。

9時 緊張の瞬間「只今よりグリーンシティにおきまして防災訓練を開始します」「只今、大きな揺れを感じました。地震です。落ち着いてください。まず自分の身の安全を図ってください。今、揺れはおさまっています。火の元を確認し、ガスを使用していたら消してください」



放送の後、居住者の方々が避難を開始。各戸のドアには避難済みシールや全員無事のマグネットシールが張り出された。

避難完了の人達が次々に各棟の安否確認受付に向かう。その時、避難ができなくなった要援護者がいるとの通報が入る。階段避難器具キャリアダンを使用しての避難方法を解説しながらの実践訓練。一人で一人を避難させることが可能な安全な器具だ。担架では一度要援護者を運べば「へとへと」だが、これなら何回でもOK。



続いて、ベランダにある避難ハシゴの使用方を解説。やぐらを組んで本当に避難ハシゴを使って避難する。大人も子どもも参加して使用方法を真剣に確認しました。その時、タンスの下敷きになって救助を求めている人がいるとの通報が入る。ここでは、タンスの転倒防止の呼びかけや実際にタンスが転倒すると驚きの衝撃音。もしもタンスに挟まれたらどうなるのかを実際に人形を使って、タンスを転倒させ、人形が下敷きになる。「ドーン」大きな音と挟み込まれる人形に目を被う人も！もしも自分の大切な人がこうなっていたらどう思うだろうか？訓練はマンション内の防災ベンチに備えられたジャッキを使用して救助開始。防災ベンチの鍵の開け方やジャッキの使用を実践。救助完了！でもタンスの下敷きになっていた人が心肺停止状態だ。直ちに心肺蘇生法を試みる。一般の参加者に実際のAEDを依頼して持ってきてもらい蘇生。



午後からは、南海トラフ地震が発生したとの設定のまま進行し防災ゲームへ突入。楽しく面白さも加えた防災訓練を行いました。もし大地震が発生したら自分たちのまちは、どの様なことが発生し、どうなってしまうのかをシミュレーション。子どもたちも災害時に学校からどの道を通って帰宅するのが安全かなどをみんなで色々な想定を考えることができました。次回はあなたも参加を！詳しくはHPを！



そんな大変な最中にB棟14階から「火事だー」と火事ぶれが聞こえる。火災報知機の非常ベルが鳴り響く中、消防へ119番通報。消防とのやりとりも公開し、実際の消防署の対応も確認。そこへ消防車7台が到着。

大地震でマンション内に逃げ遅れている人がいないか



救助隊員の検索。その検索活動中に大きな余震が発生し、救助隊員が緊急脱出を実施。14階からロープで脱出！凄い！

としか云いようのない速さで降下してくる。続いて、消防隊2隊は、連結送水管を使用した連携活動を実施し消火活動。勢いよく放水！



ところが14階のベランダで逃げ遅れた人がいるのを発見する。はしご車を使用し、ベランダに取り残された要救助者1名を救出する。ここで多くの人々が不安を抱いた。本当に14階に届くのだろうか？そんな不安も直ちに払拭される。長く伸びたはしごは14階のベランダに接近。要救助者を速やかに救出救助した。みんなは心の中で「届いて良かったあ」と。やっぱりカッコイイ消防士や消防車と記念写真を撮りたいとの人達が続出。急遽、撮影時間を設けることになった。さて、そろそろ炊き出しができてい



時間だ。炊き出し会場へみんなで移動をする。炊き出し会場では、色々なアルファ米と今年から炊き出しに採用した「ダゴ汁」が参加者に振る舞われる。ダゴ汁はうどん出汁に小麦粉を練って薄くし入れたもの。グリーンシティでは各戸に小麦粉の備蓄を呼びかけている。今回は定番のイカ焼ではなく、小麦粉を使った新たなものと考えたものだ。



大きな地震では消防隊が必ずやってきてくれるとは限らない。自分たちで色々なことを学んで備えようと、消火器や屋内消火栓に消火弾サット119の使用方も学んだ。

さあ、トイレに行きたくなったが自宅のトイレが使えない。どうする？そこで登場するのがマンホールトイレだ。マンホールに設置して使用可能なもの。しかし最近のマンホールは専用工具がなければあけることができない。マンホールの開閉からトイレの設置までを一連で学んだ。



午後からは、南海トラフ地震が発生したとの設定のまま進行し防災ゲームへ突入。楽しく面白さも加えた防災訓練を行いました。もし大地震が発生したら自分たちのまちは、どの様なことが発生し、どうなってしまうのかをシミュレーション。子どもたちも災害時に学校からどの道を通って帰宅するのが安全かなどをみんなで色々な想定を考えることができました。次回はあなたも参加を！詳しくはHPを！



は、どの様なことが発生し、どうなってしまうのかをシミュレーション。子どもたちも災害時に学校からどの道を通って帰宅するのが安全かなどをみんなで色々な想定を考えることができました。次回はあなたも参加を！詳しくはHPを！

